ひぎり　地域ささえあい訪問だより　第309号

ひぎり連合自治会・地区民生委員児童委員協議会　　2022年(令和4年)5月20日

近助(向こう三軒両隣の助け合い)による見守り・支援活動！

阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、福島県沖地震・・・日本は地震の多発国です。今後30年間に横浜市では、震度６弱以上の地震が発生する確率が82%以上といわれています。災害・被害を減らすには、**日頃からの備え(自助)と地域の助け合い(共助⇒近助)**が不可欠です！

2020（R2)年11月、西洗自治会は港南区役所の情報を活用し「**災害時要援護者**」「**ひとり暮らし高齢者**」を見守り・支援する「**福祉サポーターズ**」を発足させました。今月からサポーターが民生委員と同行し、該当者宅に「**地域ささえあい訪問だより**」をお届けします。お互いが顔見知りになって、いざというときに助け合える関係を築いていきます。**《よろしくお願いします》**

自治会ホームページに「地域ささえあい訪問だより」が掲載されています！

左のイラストは、**にしあらい自治会ホームページ**のマスコットキャラクターアライグマの「**ニッシー君**(右)」「**あいちゃん**(左)」です。**スマートフォンからもHPにアクセスできます**ので、地域の様々な情報に触れてみませんか？

ひぎり地区民児協は、1996（H8）年10月から「**地域ささえあい訪問だより**」を毎月発行し、該当者宅にお届けしてきました。最近号は「**港南プラザ・西洗自治会**」ＨＰに掲載しています。子育てサロン「**ほっとみるく**」の情報も、ひぎり地区関係自治会 HP に掲載されています。「**ひぎり連合自治会**」HP 開設も間近です。　**インターネット・HPを便利に利用しませんか？**

今年は３年に一度の民生委員一斉改選年です！

横浜市版民生委員・児童委員キャラクター
「よこはまミンジー」

1917(大正6)年、岡山県で発足した「済世顧問制度」が民生委員制度のスタートと言われています。現在、**全国約 23 万人の民生委員**(横浜市約4500人、ひぎり地区11人)が厚生労働大臣の委嘱を受け、**高齢者の見守り、子育てや経済的に困っている方の相談・支援などの活動**をしています。

今年は、**民生委員・児童委員(通称：民生委員)の改選年**です。(現任委員の任期は、2022(Ｒ4)年 11 月 30 日まで)６～８月、**各自治会は**「**地区推薦準備会**」を結成し、新たな民生委員(主任児童委員は連合自治会)を選出します。候補者は、区役所⇒横浜市⇒厚労省に報告後、**12 月 1 日に委嘱**されます。任期は2025(R7)年11月30日までとなります。

このまちに笑顔を広げられるような人を推薦してください！

発行：(通称)ひぎり地区民児協　会長：和田　弘　　**【裏面：ひぎり地区イベントカレンダー】**

本日の訪問者：(担当地区の民生委員名が記載されます)　　**お変わりありませんか？**